

令和 4 年度淀川区区政会議
第 2 回コミュニティ力向上部会

日時：令和 5 年 2 月 7 日（火）

午後 6 時 2 9 分～午後 7 時 5 4 分

場所：淀川区役所 5 階 5 0 1 会議室

○大橋政策企画課長代理

皆さん、こんばんは。

本日は御多忙のところ御出席いただき誠にありがとうございます。

会議の開催に先立ち、皆様方に御案内させていただきます。

会議は公開のため、議事録を作成するために録音をしておりますので、御了承のほどよろしくお願いいたします。

なお携帯電話は、電源を切るか、マナーモードに切り替えていただくようお願いいたします。

あと室内なんですけど、少しちょっと窓を開けてますので、寒かったりとか何かありましたら、また申し出てくださいますようお願いいたします。

定刻になりましたので、ただいまより令和 4 年度第 2 回淀川区区政会議コミュニティ力向上部会を始めさせていただきます。

私は、本日の進行役を務めさせていただきます、淀川区役所政策企画課長代理大橋と申します。よろしくお願いいたします。

では、お手元の資料を確認させていただきます。

まず、会議の次第でございます。続きまして、「配付資料一覧」と「部会名簿」、裏面に「座席表」がございます。さらに、「ご意見票」、「よどマガ」の 2 月号、「返信用封筒」をお配りしております。

続きまして、事前に御自宅に郵送させていただきました資料について確認をお願いいたします。

資料１、「令和４年度第２回コミュニティ力向上部会のご意見を伺いたい内容」と、参考資料といたしまして、「区政会議に関するアンケート集計結果」の全体会議と部会の２種類、資料２、「区政会議におけるご意見への対応方針」の資料は御持参いただいておりますでしょうか。もしお持ちになられていない方がおられましたら、お持ちいたしますので、申出いただけたらと思います。

本日の出席者については「部会名簿」と「座席表」が裏表になっているものを御参照ください。

寺田委員と英委員におかれましては、欠席となります。

本日の終了時間ですが、午後８時終了をめどに考えております。

また、前回の全体会議に引き続き、本日も御発言の際に、２分たちましたら事務局よりお知らせいたしますので、御発言についてまとめに入ってください、スムーズな進行に御協力をいただきますようよろしくお願いします。

それでは、以後につきましては、議長に会議を進行していただきたいと存じます。

山本議長、よろしくお願いいたします。

○山本議長

皆さん、こんばんは。議長の山本です。よろしくお願いします。

そうしましたら早速ですけれども、次第に則しまして議題の１、「企業・学校・ＮＰＯ等との連携について」進めてまいります。

まずは、区役所から大橋さん説明をお願いいたします。

○大橋政策企画課長代理

そうしましたら、本日の部会では２つのテーマについて御議論、御意見をいただきたいと思います。

それでは、議題１、「企業・学校・ＮＰＯ等との連携について」担当より説明いたし

ます。

○山田市民協働課長

市民協働課長の山田です。今日はよろしくお願いいたします。

まず、この御意見伺いたい内容につきまして、私どもいろいろと、現場でいろいろ議論いたしまして、地域活動の担い手についてどうしたら広げられるだろうということとで考えておりました。

結果、淀川区の人口約18万4000人、住民票の人口については、24区中2位とかなり多いんですけれども、まだ担い手が不足しているというのが現実です。ですが、約9万人もの区外からの流入、昼間区外から流入する就業者とか就学者がいるのも事実だと思います。この区外から流入される企業、NPO、学校の方々とも連携を推進することが非常に重要であると考えまして、区の将来ビジョンにも主な施策として上げております。

コロナ禍で、夏祭りや敬老会といった地域のイベントの開催も困難な状況が続いておりますけれども、イベント以外での企業、学校、NPOと連携した地域活動として、どのような取組ができるかなというところで御意見いただければと思ひまして、本日提案させていただきました。御意見のほうよろしくお願いいたします。

○山本議長

山田課長、どうもありがとうございます。

地域との連携についてということで、非常にデリケートな問題かなと思うんですけれども、まず区外から日中とかに働きに来ている人という意味ですよね。

○山田市民協働課長

そうですね、はい。

○山本議長

その人たちを、どうしたら地域活動に参加していただけるか、また地域活動に参加してもらうことによって、この街いい街やなとかいうことで引っ越してこられる。そ

こに定住してもらおうとか、そういう狙いかなというふうには、この文章だけでは考えるんですけれども、ちょっと皆さんの意見をお聞かせいただけたらなと思います。

大西さんから、よろしいですか。

○大西委員

色々方法があるんだとは思いますが、この定住してもらおうという問題と、地域活動の担い手というのはまた別個の問題かなって思ったりもするんですけれども。なのでどっちを優先させるかというか、別個に考えないといけないのかなと思ったりもするんですけれども、どっちを主軸に置くかですね。

まずは流入、淀川区に来てもらうことを最優先して考えてもらう。だってこれ淀川区に住まないことには、担い手という話にはならないと思うので、まずは淀川区に入ってきてもらうというのを優先的に考えていただいて、その後に、じゃ、淀川区に長く住んでもらうんだったら、担い手としてどういうふうな取組ができるかというのを考えるのがベターなのかなというふうに感じました。

○山本議長

順立っていかないとということを今おっしゃっていると思うんですけれども、中井さん、何か御意見ございますでしょうか。

○中井委員

私はそうしましたら、NPOのこともちょっと話したいと思うんですけれども。

○山本議長

どうぞ。

○中井委員

よろしいですか。西中島の企業とか、その会社に働いてる方というのは、個人でその地域に貢献していただくというのは、もうかなりやっぱり難しい問題があるかと思っています。

やはりそのビルに入っておられる、あるいは企業の方、会社、法人そのものにや

っぱりお願いして行って、そこを動かしていくという形でないと、なかなかやはり。今までも、名前ちょっと忘れましたが、関係会社の方で過去十数年前か、何か活動していたというのはちらほらお聞きしてまして、そういう経験があるんですけども、いま一つそういう形で、法人に対してやっぱり活動していた。当然他の地域では、もう既にいろいろ活動していただいている企業もおありかと思います。

それともう一つ、NPOのことをちょっと今回の議題の中に上げられてたんですけども、NPOというのは十三地域が結構今盛んにやっていただいて、先般、木川南連合という形じゃなくて、私は西一南町会という形でいろいろ試行錯誤して、NPOの方に、十三アートフェアという形で11月21日から27日まで、公民館で、町会という形で所有権持ってますので、誰の気兼ねもなく、ちょっとやっていただくことできるかという形で、やりましょうという形でやっていただいて、1週間の間に100人プラスアルファぐらいの方が来ていただいて、私も十三地域あるいは木川地域、そういう形で、やはりちょっと違う視点でやると別の意味が出てくるんだなということは考えさせられました。

ある意味ではやってよかったなという方もちょっと多かって、各地域からよその地域から100人近く延べ、100人多分超えてたと思いますけども、名前も書かれてないから。

それともう一つは、やはりNPOの方に御協力いただくという中で、私も今ちょっと勉強してるんですけど、いろいろやっぱり考え方の違う方もおられますんで、NPOの方が若い方、やはり補助金とかいろいろ淀川区から出してはおられるんですけども、やはり長く継続してそれができるのかなという。やっぱり心配というんですか、老婆心ながら私ももう77なんですんでね。やっていただく方も30代とかおられますんで、やはり基盤がしっかりしていかないと、なかなか継続というのが難しい。

それともう一つは、後ほどまたお話ししたいと思いますけども、全体会議のときにちょっとお話ししたいと思っていますんで、この辺で止めておかせていただきます。

以上です。

○山本議長

ありがとうございました。次、西岡さん。

○西岡委員

この資料を頂いてからずっと考えてましたけど、なかなかいい案がなくて。地域の活動の担い手というのが、企業に限らず我々の次の世代にどうやってつなげていくかというところから全然解決しない問題なので、それをまた企業までどうやって持っていくっていうたら、なかなかちょっと今、自分の中では考えが出てこない状態ですね。

○山本議長

まとまりませんね。確かに思います。

○西岡委員

以上です。

○山本議長

水本さん、いかがでしょうか。

○水本委員

企業やNPO等の連携について、これもう一つぴんときなかつたんですけども、西中島においては、学校のほうは一応地域とはうまくいってると思います。

ただ企業につきましては、今まで企業との接触というのは、西中島においては御存じのように、地下鉄の周辺、阪急電車の周辺に放置自転車が多くあると。

それに関してどうすればいいのかとって、結局、近所の企業の人たちに回って、なんとか乗ってこないようにしてとか、そういう頼むということは、うちの会長さんがいろいろとやっていただけてますけども、NPOというものを私はもう一つ分からない。ただ西中島で、これからこれは大事にしていかなければいけないと思う。

西中島も御存じのように専門学校が多いんです、すごく。本当にあの駅のところのほうはね。だからそこに、今現在何か行事やるときは、誰かその専門学校の子どもたち

のお手伝いをしてもらってるんです、西中島。

そういう場をもう少し何かの形で広げていくとか、というふうにいけたらなと、まだ言うのはたやすいが、なかなか難しいところもありますけどね。

それはやっぱ、そういう道をちゃんと今はある程度つけてますので、そこもうちょっと前に突っ込んで話をしていくとかいうことでいけたらな、いいなと思います。

○山本議長

ありがとうございます。

うちの地域でもハロウィンとかのときに、デザインとか美術系の学校にお願いして、顔のペイントをお願いしたりとか、そういったつながりはあるんですけど、そのときだけで、それ以外の地域活動に対して。

○水本委員

結局、そういうことですよね。

○山本議長

そういうことなんですよ。つながっていかないです。

○水本委員

せっかくお手伝いでもしてもらうんやし、また向こうの技術者の方もものすごい協力で、何でも言ってくださいよとおっしゃってもらったのでね。そういうこと何とか、もうちょっとやっていきたいなとは、なかなかいかないと思いますけども。

○山本議長

そういうとこつなげていきたいんですけどね。

○水本委員

せっかくこういう会議がありますので、山本議長さんにも、またいろいろとお知恵をいただきながらやりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○山本議長

水本さんありがとうございます。

最後に浅井さん、よろしくお願いします。

○浅井委員

宮原地区で盆踊りですね。三国本町公園の中でやるときに、よく企業の人からの寄附をいただいて、寄附の名前貼り出してはおるんですけれども、そのときだけの付き合いという感じがいつもしてるんですね。ですから、企業のどなたでもいいですから一緒に踊っていただけたらなと思うんですけれども、全然、宮原地区以外の方がよく踊りに来てるいうのも聞きますので。

だからそれが一つと、もう一つは、よそから定住していただきたいということであれば、私いつも思うんですけど、自転車のマナーがものすごい悪いんですよ。

あるとき、学校の先生と思われる方が、ばっと歩道の上走ってきて、その後ろ同じジャージの恐らくスポーツ関係のクラブの人が、もうぴたっと追いかけていく感じで来るんですね。もう危険極まりないので、小学校、中学校を対象にして徹底的に自転車の講習をしてほしいですね。

それからそれだけじゃなくて、逆走とか夜間の無灯火とか、並走しておしゃべりしながら走ってるとか、もうそういうのがあまりにも多いんで、やはり住みやすい街にしようと思うと、そういう基本的なところを教育していくのが大事ななと思うんですけれど。

○山本議長

ちょっとした環境づくりというか、そういったことですよね。

企業さんに協力いただくということであれば、今、SDGsとかいうことに対しては企業さんすごい敏感に響くんですけれども、それを淀川区として、1つの町会として、どここの連合として、それをどう取り込んでいって結びつけていくかということで一生懸命考えてたんですけども、なかなかいい発想が浮かばなくて、皆さんに御意見を聞いているような状態なんですけれども。

ほか1周しましたけれども、もうちょっと何かこういうのしたと。

副議長聞いてませんね、すみません。申し訳ないです。

○大屋副議長

私どもの地域は、本当に企業も少ないですし商業地でもないですし、ほとんどが住宅というか、もう学校も小学校だけで、専門学校もあつたりとかということもないですね。NPOに関しても、1つか2つあるかないかぐらいの感じで、あまり地域としてはほかから来られてということはないんです。

今のところ、地域活動のほうにも若い方がたくさんこの頃参加してくださるように、40代、50代の方が結構多く参加してくださってるんですけども、やはりお勤め優先ですので、なかなか夜しか出られない。出張が多いので、ちょっと夜の会合も出られないときもあるということで、なかなか若い方には難しいというところもあるんです。

でも参加していただかないと、やはり担い手ということになりますと、若い方に後バトンタッチをする、そのバトンタッチをするタイミングっていうのが難しいので、やっぱり協力はなかなかしてはいただけない部分もあるんですけども、お休みの日とか夜は出られますよって言っていただいて、若い方が増えてきてるというのはありがたいことだなというふうに思っております。やはり70代、60代後半から70代、80代、頑張らなきゃいけないというのは、やはりちょっと地域にとって寂しい限りかなというふうに思います。

私どもの地域、今もうマンションが本当にたくさん建ち始めてます。でも定住ではありません。みんなワンルームなんですね。だからそういう意味では、利便性はあるけれども、なかなか定住には結びつかないという地域だと思います。

○山本議長

駅近で交通の便がいいということで単身者が多い。そもそも単身者の方は、町会にはまず入っていただけない。ワンルームマンションということであれば、オーナーさんはいるんでしょうけれども、オーナーさんから事業資金的なものを頂いてるだけで、

中に住んでる人は、ほぼほぼ地域のイベント等には参加していただけてないというのが実情だと思います、大屋さんも今おっしゃったように。

これ見ておりまして、これ1つの連合とか地域のお話でもあるし、淀川区全体でも、どうしたらいいんだろうということを今日聞きたいという。

○山田市民協働課長

そうです。確かに特効薬的なことはないでしょうというのは、やっぱり役所の人間、凝り固まった考えもありますので。

○山本議長

ちょっと柔軟な発想の。

○山田市民協働課長

ちょっと違う視点で何かというのがありまして。

○山本議長

こういうのとかいうのを結びつけたら面白いんじゃないかとか、そういう意見が欲しいという、多分そんなんかなと思ってたんですけど。

○水本委員

それと、そういうことみたいに、区役所のほうでは何か考えてるようなことあるんですか。もう我々の意見はともかくとして、区役所としてはこういうの。

○山本議長

区役所は、区民まつりとかあって、区民まつりに企業を呼んで何かちょっとしたことはやってはりますよね、今まででも。

○山田市民協働課長

いろんな企業と連携しましょうということで、防災面とか、こういった1つテーマを決めて企業連携というのは少しずつはしているんですけども、何か防災というだけで、こういったイベントとか、地域の担い手の育成とか、何かあったときにみんなと一緒にやりましょうというところまで行ってないところもありましたので、実際地

域でやられていることがあるんでしたら参考にさせていただけたらなと、それもありました。

○山本議長

西岡さん、何かひらめきません。

○西岡委員

いや、全然ひらめきません。

○山本議長

全然ですよ。

○西岡委員

全然です。

○山本議長

僕も全然浮かばないんですよ。単発の行事には。

○西岡委員

企業にお声かけするというのは、各地域の役員さん言うたらおかしいけど、そこ飛び越えてやってはるの。

○山田市民協働課長

飛び越えてではないんですけども。

○西岡委員

ちゃんとうちに、各地域の連合とかに言うて行くんですね。

○山田市民協働課長

連合とかで、そこにつて。

○西岡委員

それやったら単独でやってるわけじゃないよね。もうその前からやってますよ、地域では。

うちは、加島地域の中にある企業に対しては協力してくださいとか、いろんなイベ

ント参加してくださいというのは、もう役所がやる前からやっていますからね。それ以上のことを何かやってくれてはるんですか。

○山田市民協働課長

そこからその企業さんのほうが、加島だけではなくて淀川区全体にという興味があったりとかすると、逆に言うたら、全地域話しするよりも私らが一旦受けまして、で、区として。

○西岡委員

加島地域に限らず、もっと区として協力するって言うたらおかしいけど、連携してくれはるというときにね。

○山田市民協働課長

実際、三津屋地域の企業さんであの鍵のメーカーのGOALさんとかが今年度協定始めまして、こども110番とか、そういう見守りのところでちょっと協力しましょうかというのはいただいたんです。

それでそこから何かないかなとか、そこには昼間工場もありますので、いっぱい従業員さん来てますので、昼間何かイベントなんかがあればとかいうのでちょっと先行事例とかありましたらと思って書かせていただいた。

○山本議長

そういう協力体制に持っていけるっていうことはあると思うんですけど、大西さんも言われたように、それとまた定住の話とは別になりますよね。定住とか担い手になってもらうとか。

○大西委員

1つの意見として、そういうのがあるのかなというのと、今ちょっと思いついたんですけど、各企業さんってCSRあるじゃないですか。

○山本議長

ありますね。

○大西委員

C S R、例えば僕の知ってる会社は、何か毎朝掃除をするんですね、周辺の。そういうことを掲げてる会社さんに対して、該当する地域の方と会社とをタイアップして。

○山本議長

一緒に掃除する。

○大西委員

例えば掃除とか、周辺一緒にごみ拾いするとかね。そういうのを見つけたら、お互いの利害が一致するわけですね。向こうはC S Rとしてやってるってわけですからね。そういうのを見つけていったら、広がるのでは。

○山本議長

だからS D G s の話を、環境に配慮した街とかというふうになったら、清掃活動、そういうのは。

○大西委員

環境だけに限らず、会社が掲げているC S Rの項目をちょっと調べてもらって。そういうのをちょっと今思いつきました。

○山本議長

それと地域、どうやったら結びつくかなって考えたんですけど、なかなか出てこない。本当に清掃活動ぐらいしか出てこなかったんで。

○大屋副議長

防災訓練を企業で、防災というか要するに避難訓練ではないですけども。

○山本議長

企業自身は消防訓練ですね、恐らく年1回はやらないといけないことになってると思う。

○大屋副議長

消防訓練ですかね。そういうのに地域を呼んでくださるというのがありますね。

○山本議長

ありますか。

○大屋副議長

こういうことをやりますということで、消防訓練の様子を見せてもらうというか、そういうのはやってますね。今コロナの中、企業がなさんです。

○山田市民協働課長

企業がやっているところに地域の方が見学させてもらうという。

○大屋副議長

そう、そこへ地域が、そうなんです。

○山本議長

見学できる。

○大屋副議長

見学みたい。それは、ここコロナでちょっと2年、3年でできてないですけども、企業のほうもそれはまた始めたいですねというふうなことをおっしゃってます。

○山本議長

大がかりな消防訓練でしたらいいですね。

○大屋副議長

そうなんです。やはり工場なので、皆さん周りが危険じゃないかって、その工場自体が化学工場で危険じゃないかというふうなところ辺で、もうこういう安全面でやっていますよという企業のPRでもあるし。

○山本議長

PRも兼ねてということですか。

○大屋副議長

そういうことですね。それもあると思います。

○山本議長

ありがとうございます。ほか、ちょっとずつ意見出でしたんですけど。

○水本委員

お聞きしますけど、各区域から来ておられますけど、地活とか会がありますよね。地活会議ありますよね。そこに企業が来ているようなところはないんでしょうか。ありませんか。やっぱりその各種団体だけかな、企業まで入ってる。

○山崎市民協働課長代理

商店街さんが来ているところとかはありますね。

○水本委員

商店街の入っているところありますね。

○山崎市民協働課長代理

あと福祉施設さんが来ていたりする地域もあります。

○水本委員

企業とも連携したらという趣旨はよく分かりましたけどね。非常によく分かるんです。そしたらどういうふうにやればいいのかと。

大きな企業ではなしに、例えば、ビルのところに多く入ってるようなところ、企業は企業ですけどね。うちの地域なんか、さっきもちょっと申しましたが、自転車のところなんかは企業に行かんとビルを持ってるオーナーもいます。オーナーにお願いに行ってる。ビルには20も30も入ってるじゃないですか。その持ち主に、何か頼みは、それはよく行ってます。

○山本議長

ビルのオーナーさん。

○水本委員

そうしないと、らちが明かんじゃないけど、何を頼みに行ってもということでそれもまだ進んでませんけども、そういうふうなことをやっていますけどね。

それが連携になるのかどうか私ちょっと分からないですけど、やっぱりさっきちょ

つと言いましたけど、全体を考えという話ですけど、全体は難しいからとりあえず地域の中から言えば。

何かのどこの連合でもそうだと思いますけど、コロナ禍で一個も、何ごともできてないから、今も何もできてないし、3年ほどできてないからね。余計そういう地域連携は難しいと思いますけど、何とかちょっと兆しも見えてきたんかどうか、ちょっと少なくなってきた、令和5年度ぐらいはやれるようになれば、いろんなイベントに、そういういろんなことやってますので、その中で今まで以上に地域の方、企業の方々に来てもらえるというようなふうにして、来ていただいて参加してもらってと。夕方とか、なかなか難しいかも分らんけど、そういうふうにやっていけたらなと。

それともう前言いましたけど、区全体でやるんだったら体育の運動会するとか、神崎川でカヌーをこぐとか、そういうふうな。例えば18連合がこう来ると、そういうのを簡単に何かできへんかな。何かそういうふうな。それから、今度区政、来年、再来年ですか、50周年。

○山本議長

50周年でしょう。期待してます。

○畑中総務課長

来年、再来年度かな。

○山本議長

再来年度。

○畑中総務課長

令和6年度になるんですかね。

○水本委員

何か1つ大きなことを、大きなことなんかやらんでも、地域全体が集まるような、イベントを何か考えてくれたほうがいいと思いますけどな。

○山本議長

何か一つになれるようなことね。

○水本委員

今区民まつりだけでしょう、全体としてはな。だと思うけど。課長、もっとええ考え出して。

○山本議長

ちょっと話が脱線しかけてますんで。

ほか、時間ちょっと早いんですけど、最後に何か御意見あればお伺いしますが、なければ次の議題に行かせていただいてよろしいですか。すいません、まとまりなくって申し訳ございませんでした。

その次ですけれども、2つ目です。「区政会議の運営について」ということで、議事進行また移りたいと思うんですけれども、これは田口課長ですかね。御説明のほう、よろしく願いいたします。

○田口政策企画課長

本日2つ目のテーマということで、表題として「区政会議の運営について」、ちょっとまた抽象的で恐縮なんですけども、内容を読ませていただきます。前回区政会議、全体会でしたけど、昨年11月に開催しまして、資料としてお配りしましたけど、「区政会議に関するアンケート集計結果」ということで、区役所や委員との間で活発な意見交換がなされているかという肯定的意見が、おかげさまで全体会議では54.5%ありまして、部会では95.7%という結果でありました。ちょっと全体会議のほう部会に比べたら満足度は低いのかなというところがございますけども、そのほかにもほかの地域で抱えている課題や対応等の事例を知るような機会あればよいとか、今日お越しになっている西岡委員さんのほうからの御意見ですね。あと、フリーディスカッションの時間は有意義だと思うなど、改善への取組について様々な御意見をいただきました。

今後、区政会議でより活発な意見交換を図っていくために、皆様に御回答いただき

ましたアンケートでの御意見を、さらに深掘りしてお伺いしたいと思っております。

特に会議の運営方法、抽象的で申し訳ないんですけども、よりこうしたほうがいいなどの皆様のお考えや御意見がございましたらお聞かせくださいということで、何でも細かいことでも結構なので、多分、改善ってどこの区でも同じようなお話やられてると思いますし、割とどこの区も切磋琢磨していて、ここは改善点だねとか、こういう形態にしたらどうか、こういう話合いのやり方したらもっと意見が出るよとか、フィードバックはどうか、もう忌憚のない意見言っていただいたら結構かと思えますし、もっと言ったら、せっかくなら、地域で抱えている課題や対策等の事例を知るような機会があればよいと、こういう意見も出てるので、この場を借りて地域課題の何か意見交換でも、今日まだ時間ございますので、やっていただいてもいいのかなと個人的には思っています。別に強制ではないですが。

説明は以上です。よろしくお願いします。

○山本議長

はい、ありがとうございました、田口課長。

そうしましたら、部会及び全体会議を通してでもいいですね。こういう会議がより活発な意見が出るような、どうしたらいいかとかいう意見があれば、ちょっとお伺いしたいんですけども。

中井さん、何かありましたか。

○中井委員

水本会長のところと木川南連合というのは、今ちょっと似たような現状に置かれている。西中島さんのほうはビル関係が、会社関係が、大きな会社が多くて、私どもの地域は逆にほとんど会社がゼロに近いというような地域で分かれておるんだけど、その中で、この席であんまり深く議論をするつもりはないんですけども、児童の、学校のいろんな調整の問題が浮上してきておましてね。

これについては、今、日本で問題になっている少子化あるいは子育ての問題は大き

くクローズアップして、我々も悪いんですけども、十何年間ワンルームばかり建ってた形のものを、私はかなり個々に抵抗して活動はしてたんですけども、いかんせん力及ばず今のような現状で、区長の説明会ももう終わって、大阪市の議場に戻されるというような結論みたいになっているようなんですけども、だんだん、子どもさんを中心とした若い世代の方が我々の時代と違って、ものすごく少なくなっている。

初めて災害の避難所開設を1月29日に開催して、50名以下という形で制限してやったんですけども、餅つき大会はやるということで決定したような。ただ、だんだんそこに出てこられる御父兄の方、若い世代の50代とかそういう方が、子どもさんの数と合わせて少なくなってきた、70歳以上とか60歳以上の方がほとんど、極端なこと言ったら80ぐらいの人が。私先ほどNPOって言いましたが、NPOに御協力いただいて、いろんなことを個人的には考えておるんですけど、これからちょっと正念を入れてやらないといけない。区政会議とは別の場所で、やっていかないといけないことが出てきているんですけど。

その辺の御意見が水本会長等、御経験がおありなので、その辺の少子化対策含めて、若い方に活動に参加していただく、企業とまた別に地域の自助って言うんですか、NPOさんに助けていただくということじゃなくて、自分らの町会単位、連合単位でどう活動これからできるのかということを真剣に考えると暗たんたる気持ちで、これは資金的な問題もありますんで、正直言って私どもで1550件あった件数が、もう今年辺り下手したら4月以降1200件割れるかというような**現状になってきつつある**。ということは、自主財源だけと補助金を頂いても、自主財源がこういうようなインフレの世の中になってきますと、同じ活動はもうできないなというのが現状でございます。

ですから、いろんないいこと言っても、やはり先立つ財源がないと活動ができませんので、正直言って頭の痛いことが出てくるなという形で、ちょっとこれからこの1年かけて、私も正念場で最後の御奉公かなと思って御相談させていただくつもりで

おるんですけどね。

水本会長等の御意見も聞かせていただきたいなと思ひまして。すみません。

○山本議長

はい、分かりました。今おっしゃったのは中井さんとの地域が抱えている問題ということで、同じような問題を各連合が抱えているかと思うんですけども、御指名がありましたので水本さん。

○水本委員

地域課題ということですか。

○山本議長

若い方が減ってきて参加してくれないとか。

○水本委員

それはもうどこの地域でも同じ違いますかね。もう、御存じのように西中島地域は、だんだん子どもが少なくなってきた、いろんな問題抱えてきて、もう学校としての行事もできなくなっているわけです。ということは、それだけ若い父兄が少ないということです。

例えば50人しかいない小学校だったら、700人も800人もいる小学校だったら、やはりそれだけの大人、お子さんがいるわけじゃないですか。うちは残念ながら五十何人ぐらいしか子どもがいなくて小学校自体がね。それならそれに対して、父兄も当然若い人も少ないというわけでしょう。

地域としてもいつも我々が話ししてるのは同じで、どうしたら地域の魅力を出せるかと、西中島の魅力をです。それなら、もう何でもいい今年は盆踊りする、何々しようという。

今のところは学校さんも出てもらって、地域でも。そこで本当に協力してくれるんですけど。議員さんたちもみんな来てくれはるんです、会合に。それはものすごいやりやすいので。それを何とかこう伸ばして伸ばしていきたいなとは思ってるんやけ

ど、行事ができないから、一旦そこ伸び悩んでるけども、まあ戻ってきたら、そういう希望は少しはあるんじゃないのかなとは思っています。

○山本議長

学校としっかり連携取って、何とか地域でやっていきたいと。その中で中井さんおっしゃってるのは、企業が少ないもんですから財源がないという。

○水本委員

財源。

○山本議長

うん。事業資金をもらえるようなところがないし。

○水本議員

うちらもないですよ。ただし町会は持ってますよ。

○山本議長

でも町会の人数が少ない。

○水本委員

うちらだって13ありますけど、町会ね。それは極端な話、100持ってる町会と、ほんまの話10ぐらいしか財源ないと、それは西中島は特にもうものすごいばらつきがあります。もう阪急から新大阪寄りの町会と、もう何かビルが多く建ってる、それは入ってくる。

○山本議長

加盟世帯数は何世帯ぐらい、全部で。加盟世帯数。町会の加入世帯数です。

○水本委員

うちは100です。うちは100しか、町会は100しかありません。

○山本議長

いや、西中島連合。

木川さんは、今年1200ぐらいになるだろうということですよね。

○水本委員

同じぐらい違うかな。

○西岡委員

区政会議の運営の仕方について、言ったらいいんですか。

○山本議長

はい、西岡さん行きましょうか。

○西岡委員

前に1度事務局のほうに聞いたんですけど、全体会議は絶対全員出ないといけないのかということで、もう規約がそうなっているから変えられませんという話言われましたが、僕の考えとしては、あれだけたくさんいても、あまり意味がないんじゃないかなと思ひまして。

年度初めは全員参加したらいいと思うんですけど、次以降は部会から例えば2名選出して全体会議に出てもらう。そのほうがもっと意見活発に出るんじゃないかなと。あんな広いところで、遠いところに見えてはる人に対して、何か意見言っても何か通じるのかなというのが、あのレイアウトからそういうふうに感じました。

だから誰かが部会から誰か2名選出してもらって出席して、全体会議やってもらう。それをフィードバックするような形の、何か規約を変更しないといけないみたいですから、規約を変更してやってもらったほうが、より活発にこう密に意見交換できるんじゃないかなと。

○山本議長

1つの意見として、少人数制でやればという。

○西岡委員

そのほうが、僕はいいと思っています。あと、時間も最初は6時から9時から、結構長い時間だったんですけど、今ぐらいの1時間半ぐらいのスパンの時間のほうがいいと思います、長過ぎるのもね。

○山本議長

制限時間を設けられたりとかしましたからね。

○西岡委員

2分の意見言うのもいいと思うんですけど、そのほうが僕はやり方としてはいいんじゃないかなと。部会のほうが皆意見を言いやすいです。

○山本議長

大西さん、前回リモートで参加でしたけれども。

○大西委員

急遽リモートで参加させてもらったんですけど、印象としては、やっぱり誤解を恐れずに言うと、後ろ向きな意見がちょっと多かったですね。建設的な意見じゃなくて、分からないとか、こんなのできるわけないとかね。ちょっとニュアンスは違うかも分かんないですけど、そういう意見だったら別に来る必要ないなと思ったり。

そうじゃなくって、どうしたらよくなるかというのを話し合う場と思っているので、そういう活発な意見をしようと思ったら、そういう建設的な意見を出さないと、まともでないのかなというのは感じましたね、前回の会議で。

○山本議長

どうですか、浅井さん。

○浅井委員

難しいですね。

○山本議長

区政会議をもう少し内容などを濃い会議にするためには、どうすべきかということをも多分聞かれているんだと思うんですけども。

○浅井委員

考えとまでは思い浮かばないんです。

○水本委員

全体会議をやって長いとか、そういう問題はちょっと置いて、私たちのコミュニティのことしか分からないじゃないですか。でも全体会議に出ると、向こうは、こんなところはこういうこと言うてるのか、ああいうこと。私は、それは勉強になると思いますけどね。全体会議自体はね。

○山本議長

違う部会がどんなことを。

○水本委員

それを短くやるとか、それはいろいろ考えるところもあるかも分かりませんが。

私は、今日やっているのコミュニティの部会だけやから、ほかの部会のことを全体会議で話ししてくれるじゃないですか。そのときに、ここはああいう議論をしたのか、ここ議論したのかということが分かるので、私はいいと。 えらいすいません。申し訳ございません。

○山本議長

西岡さん、そういう意見も。

○西岡委員

いえいえ、僕の思っていること言うただけなんで。

○山本議長

西岡さんはそういう意見で。

○西岡委員

はい。大き過ぎるし、皆文句しか言うてないような気がするし。さっき言われたように、建設的な意見全然言わないから、それだったらもっとこんな部会のほうがいいと思う、規約を変えてもらえるんだったら。

○山本議長

それには規約を変えないといけないということね。

○田口政策企画課長

大阪市のほうで、条例等で決めている部分がありまして、どうしてもそこに従わざるを得ないという部分もあります。

○西岡委員

規約の改定を前提で話ししてますから、してもらえるんだったらということ言ってます。議事録だって、いつも全部大量にもらいます。要点だけもらえれば一番ありがたいんだけど、全部もらっても全部読むかなと思いつながら。

○田口政策企画課長

議事録と議事要旨は両方とも送っています。

○区役所職員

そうですね。議事録は絶対に確認いただいています。

○西岡委員

そう、絶対必要と言われるから、もらうほうにしたら全部読まないし、けど要点だけもらえたら、そのほうが頭に入るの。

○山本議長

その辺は、この参考資料にも書かれていますよね。

○西岡委員

大体、多分僕が言ったものだと思います。

○山本議長

大屋さんのほうからありますか。

○大屋副議長

私も思うんですけども、この4年度の第2回淀川区区政会議の皆さんの発言された内容が事細かに書いていただいているんですけども、これを読む必要があるのかなという気がするんです。これは公開するので、そうしていただかないといけないのかなからないんですけども、全部読んでも何か内容的に、先ほどおっしゃったようにちょっと分かりづらいというか。

それと私のほうは、この部会に出させていただいても、専門的には福祉のほうが本当はこの区政会議でやりたかった分野なんですけれども、コミュニティという部会に入って、どういうことをするのかというのがまだ一つ把握できてないというか、見えてこないというか。

今日の議題にしても、なかなかコミュニティと区政会議の意見を出すという、それどこがつながっているのか私の中でよく分からない部分があるので、私は勉強会が必要だというのを書かせていただいたと思うんですけれども、やはり区政会議に出て意見を言うのであれば、こういう意見を言わないと、こういうことを勉強してやらないといけないということを、やっぱりもっと自分で、自分1人ではなかなか勉強できないですので、そういう勉強会というのが必要なのではないのかというふうに考えています。

それと、やはりあの大きな場所で発言するというのは勇気が要るんです。それと、もう一つまたこういうふうに出てくると、何か自分が言った意見がこの文章になると、何でこんなこと言ったんだろう、これ必要じゃなかったんじゃないかというふうなことで、なかなか自分の中で消化し切れない部分があるので、今日は発言しないでじっとしておこうとかというふうに思ってしまう自分がいて、それもいかなものかというふうに思っております。

○山本議長

そうすると、全体会議、マイナスになってしまいますよね。

○大屋副議長

そうなんです。

○山本議長

確かに僕も思ったんですけど、僕もこの部会に入って、ある課題を1年間ずっとやっていくというふうに僕は思ってたんです。毎回部会って議題替わるでしょう。いまだにどぎまぎしながら会議参加させてもらっているんですけど、ある一つのことをみ

んなで意見出し合って、その次にまた集約して、最後に何となくこの部会での結論を出すみたいな会議かなと、部会というかこの区政会議ってそのように思っていたんです。

僕もまだ1期目なんで全く分からずで、議長させていただいて、何をしたらいいのがちょっと分からなかったんですけど、一番最初のほうは、要援護者の問題とかそういうのあったんで、それを地域でどうやっていったら最終的に漏れがなく要援護者を援護できるのかという、その結論まで行くのかなと思ってたんです、部会で。それが次来たらまた違う課題。

ネットとかで一生懸命調べて、連携はどんなんだろうというのを一生懸命調べたんですけど、思うことは分かるんですけども、自分とこの地域とは結びつかないとか、継続的にやっていくのにはどうしたらいいんだろうなという、西岡さんもそうだったと思うんですけど、全く発想がなくて、要するに、環境とか清掃とか、そういうぐらいのつながりしかつukれないなとも思っていますし、それが魅力で淀川区に越してこようかというような人も、多分いないだろうなというふうに感じたので。批判するわけじゃないんですけど。ちょっと分からない部分が多かったなという、今回のこの課題ですね。

ちょっと脱線ばかりしてますけれども、意見もほとんど出たんですよ、これで。西岡さんは少人数制がいいと。大西さんは、もっと建設的な意見をどんどん出してほしいと、出すべきだというふうにおっしゃってますし、そこに意見出すのであれば、もっと自分らがしっかり勉強しないといけないというのが大屋さんの意見で、全体のことを聞けるんで、全体会議はみんなで参加したほうがいいというのが水本さんの意見だと思います。一番最初に出たのが、中井さんはもう地域で抱えてる問題は今こんなことがあるよということをおっしゃっていただいたんですけども、これを区政会議で言ったところで、どんな回答になるのかなという。

○中井委員

それで議長の意見もちょっと私聞きたかったのは、この今回の議題で、いろいろ企業とNPOって書いてましたけども、今後、どういう立ち位置でというのがちょっと、皆さんの意見も本当は聞きたかったんです。

今はいろいろ意見を、私も町会でいろんな形で聞いて。本当は議長も、ほかの大西さんやらも水本さんも、ほかの十三はある方がやっただいていてというのは、もう聞いているんです、情報で。私も社会福祉協議会の会長やらと話しして、どうなのかというのを。その辺の意見をちょっと本当は、本音を聞きたかったんです。もうどういう形で進めようかなって、ちょっと私も試行錯誤で、ごめんなさい、ちょっと言葉足らずで。

○山本議長

ありがとうございます。

ということで、この２番目の「区政会議の運営について」、全然まとまらなかったんですけれども。

区のほうから何か。

○田口政策企画課長

私が一番最初に、表題は区政会議の運営と申し上げましたが、これも結構抽象的でと言ってから、時間もありますし、もしよかったら、西岡委員が御提案されているほかの地域の課題とか、ここの場でと、ちょっとそういう話ししたから、中井さんもそれに合わせるようにお話ししていただいたのかなと思っています。

もしあれば、どうですか。あんまりそういう、ほかの地域で抱えている課題とか言われてもという感じなんですか。

○西岡委員

大体みんな一緒です。

○山本議長

多分箇条書で挙げたら、これうちもこれうちもになってくると思います。担い手の

話、少子化の問題、子ども会がほぼほぼ崩壊状態になるとか。うちはマンションでかなり世帯数多いんですけども、まず子どもは多くいるんですが、子ども会に入らないという問題が出てきている。

○水本委員

魅力がないんでしょう。いつも言われるのは、議長が言ったように、子どもはたくさんいるんだけど、子ども会の加入が少ないと、私子ども会させてもらっていますので、よく意見聞きます。私いつも答えるんです。それは、子ども会に入らないのは我々の勉強不足であって、もっと魅力のある子ども会をつくらないといけないのではないかという話は言ってます。

例えばこの区政会議でも来ても、魅力のある、もっと発言しやすくなれば、来たって帰っても気持ちがいいですけど、やっぱりしゃべっててもものすごい遠慮してます。やっぱり課長さんおられるしこれ誰もいなかったら、私これだけの仲間でしゃべってと言われれば、もっと違う、もっと意見が出ると思います。

それを望んでのと違えますよ。意見としたら、やはり皆さん、こんなこと言うたらどうやとかこうやとか思っておられるんじゃないかなと思いますからね。

思いません、西岡さん。やっぱり誰もいなかったらよくしゃべりますよ。

○西岡委員

最初は遠慮してましたよ。今期から1期目ですから、どんな運営の仕方とかが全然分からなくて、皆さんお偉い人ばかりだからどんなのかなと思っていて、みんなどんな考え持っておられるんかというのを聞きたいところがあって、区政委員に立候補みたいな形で入ってきたんですけど。でも同じような考えの人ばかりだったから。あとはもう運営の仕方だけの違いかなというふうに、何か自分で結論が出てきそうな感じもするし、幾らこうしてほしいとか言っても、何か言うだけ無駄なような気が、もうほんの1年ぐらいですけど、諦めみたいところはちょっとあるところはあるんですけどね。

○山本議長

そうなんですね。

○水本委員

この間、前回のときに、地域で何か気に入ったところがあるという話が出たじゃないですか。そのとき、私ふと思ったんです。皆忙しい人やけど、せっかく9人か10人いるんだから、一遍こう仲間でそういうところを歩くとか、そういうのもいいんじゃないかなと思いました。

酒飲む飲まないじゃなしの、ちょっと日曜日は何かそこのお寺一遍ちょっと回ってみよう、淀川区一遍回ってみようということもやってみたらなと。

前のときは、ただどこがいいですか、夕日がいいですか、いろいろ出ましたけども、それだけで終わってるではなしに、もう一つ行けば、もう少し仲間意識が増えるのじゃないのかなと。

○中井委員

ただ、うっかりしゃべってしまうと、後でしまったと言ったら難しいような。

○水本委員

後悔して、晩寝られないか分からない。

○山本議長

そういうふうに言っていたいでるんで。

○水本委員

ちょっと聞いていいですか。

ほかの部会ももっと活発に意見出るんですか。

○田口政策企画課長

例えば、教育・子育てとかでしたら、委員の豊富なご経験に基づいた意見を話されますね。それは事務局としては、ありがたいんですよ。こんな考え方もあるのかということで、いろんな刺激と言うたらおかしいですけども、そういうところはあるのか

もしれませんね。

だから、皆さんは御経験積まれている方ばかりなので、御自分の経験に基づいて、私はこう思うってどんどん言っていただければ、聞かせていただくみたいなこともあるかもしれませんね。

○水本委員

せっかく、みんな腹の減ってる時間に来てもらってるんですから、できたら一言ぐらいしゃべってね。

やっぱりざくばらんに物言えるような雰囲気であってほしいと思いますけど。

○田口政策企画課長

ただ、事務局も気をつけるというか、さっきもおっしゃったように、議事録を一字一句に送りつけてどうではなくて、「オフレコの部分は遠慮なくお申し付けください」とか、聞き方に工夫が必要だと認識しました。すみません。その辺は我々の反省点かもしれません。

○山本議長

一言一句テープどおりばかり。そこを何とかしてと。

○大屋副議長

私たちに送られてきたのはもう。

○山本議長

最終版やね。

○大屋副議長

そうなんです。皆さんにもう既に行ってるので、ここはというわけにはいかないの
で、その辺のところですね。

○山本議長

先に聞いてよという話で。

○田口政策企画課長

それももっと丁寧にやらせていただく、それは反省点かなと思っておりますので。

○山本議長

ちょっと脱線しましたけれども、このアンケートに関する集計結果の中で、ちょっと僕気になったのは、どっちにもあるんですけども、区役所として進めていきたい方向性が伝わらないという意見があったんですね、その他のところに。

行政用語で分かりにくいとか、区役所側の説明が分かりにくいとか、発言しづらいの中で、区役所として進めていきたい方向性が伝わらないというのが。

○大屋副議長

私の知っている方に、これについてどういうふうに思うということを聞いたら、これはきっと区役所が知りたいと思っていることの質問だと思うから、区役所が一般の人にどういう意見を持っておられるかを聞きたくて、それを集めたいのではという話を言われたんです。そうかというふうに思ったんですけどもね。

○山田市民協働課長

確かにいろんな人から聞いて、大阪市でもアンケートを取ったりとか、区役所でもアンケート取ったりとかして。

例えば、大阪市のほうで、地域活動協議会の皆さんと一緒に活動してみたい、興味があると思う取組はどうなんですかというのをアンケートして、一番多い回答は、やはり防災とか防犯の活動というのが23%とか26%。その次に多いのが健康に関する事とか。けど、何か祭りとか地域のお祭り事というのは20%ないというんですけど、年代別に調べてみると、祭りに興味があるというのが20代、30代、40代と3割超えてたりというのがあって、興味だけはあるのか。そういう人たちをどう巻き込んでいくとか。先ほどの若い方が来てくれるけど、仕事だからとか、けど休みの日だけ、この時間帯だけいいよということをおっしゃっている人を、地域とか区が取り込んでいくのかというのが、私らが聞きたい答えなのかなという、ちょっと思ったんですけど。

ありがとうございます。

○山本議長

どうでしょう。

区政会議の運営について、全然まとまってはいませんが。

その次も同じような議題ですよ、3番目。前回あった令和4年11月開催の区政会議全体会議における御意見への対応方針についてということで、区役所から説明をお願いしたいということで、資料2。

結構西岡さんが、多分質問されていると思うんですけど。

○田口政策企画課長

事前にはお配りはしておるんで逐一説明は省きますが、全部で11問いただいておりまして、その中でかいつまんで申し上げると、例えば3番ですね。西岡委員から御意見いただいております、加島の一時避難場所の公園、除草もされてないということなんですが、これは先月1月開催の行政連絡調整会議というのがありまして、これは区役所と警察、消防、建設局等の区内の各事業所で構成しております行政運営上の連絡調整を行うための、定期的に行っている会議で、年6回程度開催しております、1月10日直近で開催しました。建設局管理なので、もう建設局のほうに意見としまして申入れを既に済んでおりますので、ちょっと時間かかるかもしれませんが、また除草はしていただけるのであろうと期待はしているところです。

こういった会議も活用しているという中身ですね。

あとは、新大阪のお話も大阪都市計画局と計画調整局の課長に来ていただいて、いろいろ答弁を引き出すことができたのかなと思っておりますし、今後もタイミング見ながら、ああいう場を設けたいと思っております。

ただ、8番目見ていただきまして、11月でも答弁ありましたとおり、こういったお話は、当然大阪都市計画局とか計画調整局も知っている中身であります。地元の取りまとめの区役所として、先ほど申し上げたとおり、引き続きパイプ機能は継続した

いと思っています。

11月の答弁にあったと思いますが、今後の新大阪周辺地域のまちづくりにつきましては民間主導となるということです。具体的な計画ができてきた段階で、都市計画法の開発許可申請になるということでございますので、そういった民間事業者の具体的な案が今後出てくることが期待されるという、今状況であるという説明であります。

ちょっとかいつまんだ説明になりますが、以上とさせていただきます。

よろしくお願いします。

○山本議長

分かりました。

この質問及び回答について意見交換してくださいという話なんですけれど、西岡さんが何点か御質問、意見言われていると思うんですけど、この回答を見てどういうふうに感じられましたでしょうか。

○西岡委員

もう言える範囲で言うて、答えてくれてはるんだなとぐらいにしか思わないですね。

僕が思うのは、新大阪がきれいになったらいいとかではなくて、住民が住みやすいことだけをやってくれたら絶対に定住してくれると思うんです。それだけを僕言いたいだけなんですけど。

除草するとか、公園きれいにしたら子ども遊べるし。そういうところから、足元からきれいにしたら絶対いいと思う。それだけ。もう新大阪がきれい、十三がきれい、夕日がきれいとか、そういうのはどうでもよく、本当に住民が生活しやすい環境づくりさえ先にやってくれたら、絶対定住して、みんな集まってくると。僕はそれを思っています。それだけです。

それをちょっといろいろな方面から意見して質問させてもらった。

○山本議長

分かりました。

リモートで参加された大西さんが、都市計画法でされるんですかとこだわってた思
うんですけど、都市計画ですのと何か違う方法でやるのでは、何か大きく変わって
くるんですか。

僕、全然分かってなかったんですけど。

○大西委員

ざくっと言ってしまうと、先ほど説明あったように、民間主導の事業なので、簡単
に言うと行政がコントロールできないんです、条例の中でしか。という、この地域
には商業施設を作ってくださいよって言えないんですよ。その辺をどう考えておら
れるのかなというのは、ちょっと少し知りたかったのが前回です。

前は、1社しか応募来てませんという話だったので、それだったらこの事業は成
り立つんですかね、ちょっと疑問を覚えたんです。行政が強制力を持って、ああだこ
うだとあんまり言えないところがあるんです。もともと開発というのは民間主体の事
業なので、行政が強制力持ってできないというのはあるんですね。

○山本議長

民間が好き勝手にやってしまう。

○大西委員

好き勝手というか、法律とか条例に基づいてやるんですけども、言うたら、ここ
には絶対これ作ってやとかというのは言えないんです。

○山本議長

何かが統一性がなくなるとか、そういうことになるわけですか。

○大西委員

そうです。はい。その趣旨を分かっておられるのかなと思って聞いたんですが、
なかなか反応がちょっと鈍かったの。

○田口政策企画課長

一応、そのときの都市計画課長の答弁ですね。先ほどの質問は、かなり面積あるん

で、結構な数の会社がないと成り立たないのではと大西委員が御質問されて、都市計画課長は、「それぞれの民間事業者が持っている敷地単位で、それぞれの開発が進んでいくのではないかと考えている」ということで。あの答弁、大分、裏打ちするような情報なりは持ってるのかなと思います。

だから、小さく刻んで開発が進むのかなということ、私知る限りでは、なかなか広い敷地が、まとまった敷地が取れないんですよ、新大阪ってね。そこが例えばめきたとかとの違いであるので、いかに整合性というか、何かもう小さく刻んでそれぞれが勝手にやられるということも、御心配されているのかなというふうなQ Aだったかなと思っています。

○山本議長

僕もこれ読ませてもらってて、何がどう違ってくるのかというのが分からなくて、ちょっと大西さんに聞かせていただきたいと思って、今、答えていただいたんですけど。

大西さんありがとうございました。

ほかどうでしょうか、これ、質問に対しての回答とか。もうちょっと丁寧に回答したほうがいいとか、何かそんなことってありますか。

大体とか、ある程度のことしか答えられないということも多分あるんだと思うんですね。いろんな課が絡んでくるんで、そこら辺の情報というか全部まとめて答えを作っておられるのかなというふうには考えました。ということで、会議後に回答を補足してますとか、何か注釈がついてるんで、会議のときにこんなん言うてなかったのになというようなことが一、二行入ってるなというのは、そういうことかなと思いました。

大屋さんいかがですか。

○大屋副議長

本当に電柱に貼ってある防災の。

○山本議長

分かりにくいですね。

○大屋副議長

避難場所の。本当に分かりにくいんです。

矢印方向が電柱にあるの、こんなところ行ったらどうなるのという感じの表示がされてるのがもう、地域の住民の方からも町会のほうに、あの表示おかしいんじゃないのという感じの意見はよく聞くんですね。だから、方角だけだと思いますよという答えしか言えないというか、そんな感じだったのに、だから、これは、ちゃんとどこどここのというふうなん書いていただくのはありがたいですね。

大きな道路に出るための方向を指しているものがあります、これ、ちょっとやっぱり分かりづらいですね。

○西岡委員

上に小学校って書いてあるからね。絶対に小学校のほうって思うからね、あれ。

○山田市民協働課長

〇〇小学校って書いてあって、こっちってなってるのに、実際行くのこっちじゃないと無理だと。僕もその意見をもらってから調べたり聞いたんですけど、こっちに行くと、その小学校に行くための大きな通りがある。

それだったら、それが分かるように、この元を変えたら結構費用かかりますので、そこに何か追加して表示して分かりやすいようにして、その方向は、あくまでも広い通りに出るためのものであるものと、本当にそっちに行けば小学校があるのとに分けて、こちらを管理して表示をして、定期的にチェックをする。それ剥がされてないかとかいうのもあるので。

○山本議長

破損してないかとか。

○山田市民協働課長

というのも見えていかないとけないというのは、共有できましたので、ありがとうございます。

○山本議長

今日、浅井さんあまりしゃべっておられないですけど、最後に何かございませんか、このことで。

○浅井委員

新大阪駅周辺地域のまちづくりというところで、今私がいるマンションがここの区域に入っていたんですけども、あれは何か意図する何かあるんですか。例えば、あのマンション古いから壊してこうしようとか。

○山田市民協働課長

具体的に、このマンションをどうするというのはいずれですね。

○田口政策企画課長

もう第一義的には国が決めたんですよ。地元にも来てます、内閣府が何回も来て、周辺見て。私も個人的には、どんな線引きでああいうふうに、ちょっとゆがんだりとかしてるのかなとは思ってるんですけど。

○山本議長

そうしましたら時間も時間なので、もう全然まとまりのない今回は部会になってしまいましたけど、皆さん言いたいこと言えましたでしょうかね。何を言ったらいいかわからないというのが多かったと思うんですけども。

一応、本日の議題はこれで終わりということで、進行のほうを事務局にお返しいたします。

○大橋政策企画課長代理

山本議長、議事進行ありがとうございました。

また御意見等がございましたら、お手元の御意見表に御記入の上、2月21日火曜日まで事務局まで返信用封筒で郵送またはメールにて御提出のほうをお願いいたします。

ます。

それでは、淀川区区政会議コミュニティ力向上部会を終了いたします。

本日は長時間にわたり、ありがとうございました。

—了—